

雇用保険データからみた景気循環と雇用の動き

雇用保険の被保険者数は、労働力調査における雇用者数の約 7 割にあたり、その動向を分析することは、その時々々の労働力需給の動向や雇用情勢を理解する上で重要である。

本レポートは、雇用保険の一般被保険者の主要指標について、前年同月比を用いて時系列でみることで景気循環と雇用保険データとの関係性を分析し、雇用保険制度の運用状況の把握に加え、経済変動や雇用情勢の把握にも資することを目的として取りまとめる。

1. 一般被保険者の動き

一般被保険者数について景気循環との関係性をみると、前年同月比の値は景気後退期に低下し、景気拡張期に上昇している（図 1 上図）。なお、第 13 循環の景気後退期（IT バブル崩壊時の平成 12 年 12 月から 14 年 1 月まで）については、前年同月比で上昇しているが、これは平成 13 年度に適用範囲拡大の制度改正（年収要件の廃止）が行われた影響によるものと考えられる。

また、景気後退に伴う被保険者の減少は、景気拡張期に入っても数か月間は引き続き傾向があり、被保険者の増加は景気に遅行するものと考えられる。

一般被保険者の動きを男女別にみると（図 1 下図）、女性の前年同月比は、男性を上回っており、特に、制度改正の影響があった平成 13 年度に女性で大きな増加がみられた。

2. 資格喪失の動き

被保険者の動きは、労働者の入職と離職を示す被保険者資格の取得と喪失によるものであり、資格喪失者数が取得者数を上回れば被保険者数は減少し、喪失者数が取得者数を下回れば被保険者数は増加する。

資格喪失の動きをみると景気後退期に高い伸びがみられるが、景気拡張期にも高い伸びがみられることがある（図 2 上図）。これを事業主都合以外の資格喪失（図 2 中図）と事業主都合による資格喪失（図 2 下図）に分けてみると、事業主都合以外の資格喪失は、景気拡張に伴って増加する傾向がある。これに対し事業主都合による資格喪失は景気後退期に増加しており、特に第 14 循環の景気後退期（リーマンショック時の平成 20 年 3 月から 21 年 3 月まで）に大きく増加した。

なお、事業主都合の資格喪失の前年同月比は景気後退期の末期にピークをつけており、雇用調整の減少は景気回復に入る目安になるものと考えられる。

資格喪失を男女別にみると、事業主都合以外の資格喪失では、女性の値が男性を上回っている月が多く、事業主都合の資格喪失では、景気後退期のピーク時の値は男性が女性を上回っている（図3）。

3. 初回受給者及び受給者実人員の動き

初回受給者（同一の受給期間における第1回目の基本手当（いわゆる通常の失業給付）の支給を受けた者）の動きをみると（図4上図）、景気後退期に前年同月比が高まっており、その動きは先にみた事業主都合の資格喪失の動き（図2下図）と類似している。男女別にみると、景気後退期における男性の増加が大きい（図4下図）。

受給者実人員（当月に基本手当の支給を受けた者の実数）をみると、景気後退期に前年同月比が高まり、景気拡張期に低下している。受給者実人員のピークは、事業主都合の資格喪失のピークの後にみられる傾向があり、雇用保険の資格喪失、基本手当の受給という時間的な流れが、雇用保険データに表れていると考えられる。受給者実人員の動きを男女別にみると、景気後退期は男性の値が女性を上回る傾向がある（図5）。

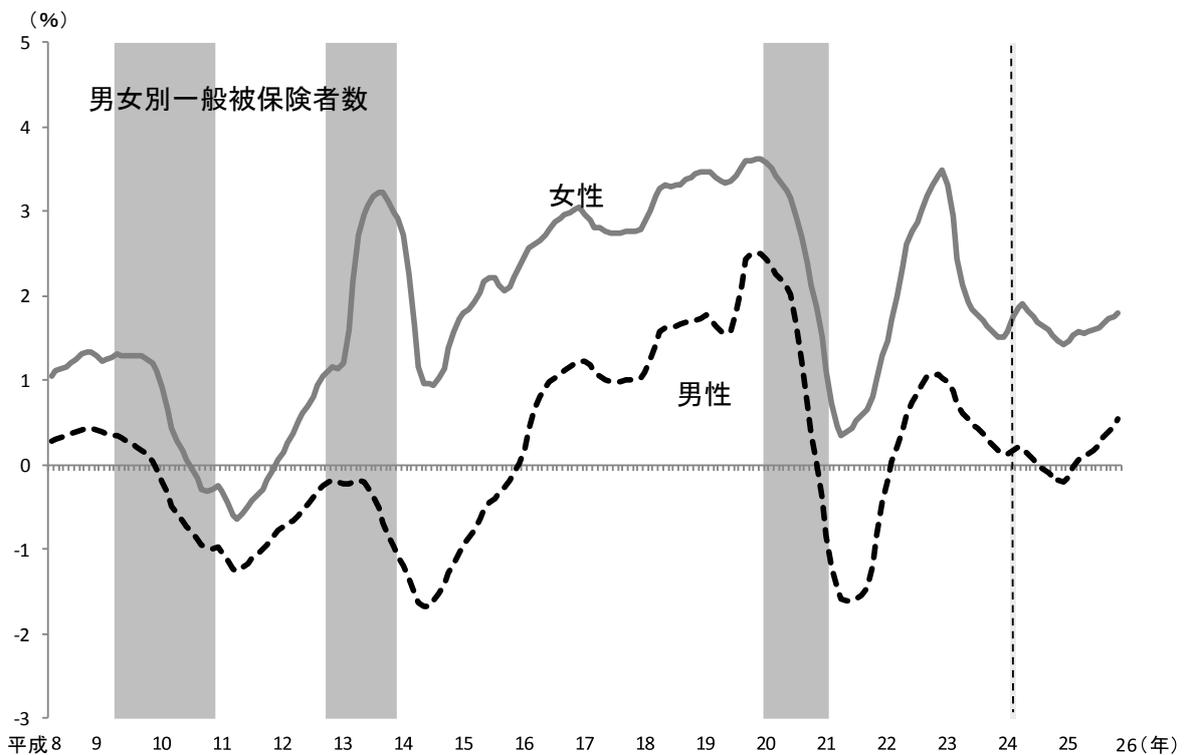
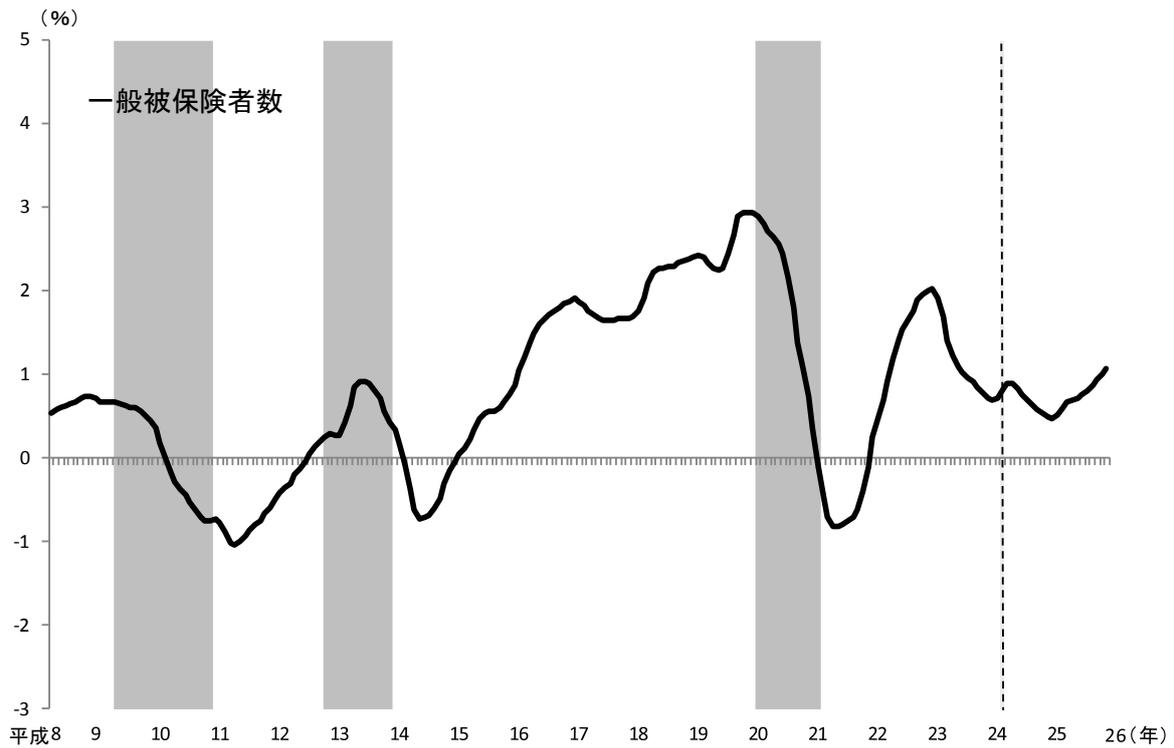
問い合わせ先

職業安定局雇用保険課

雇用保険財政分析官

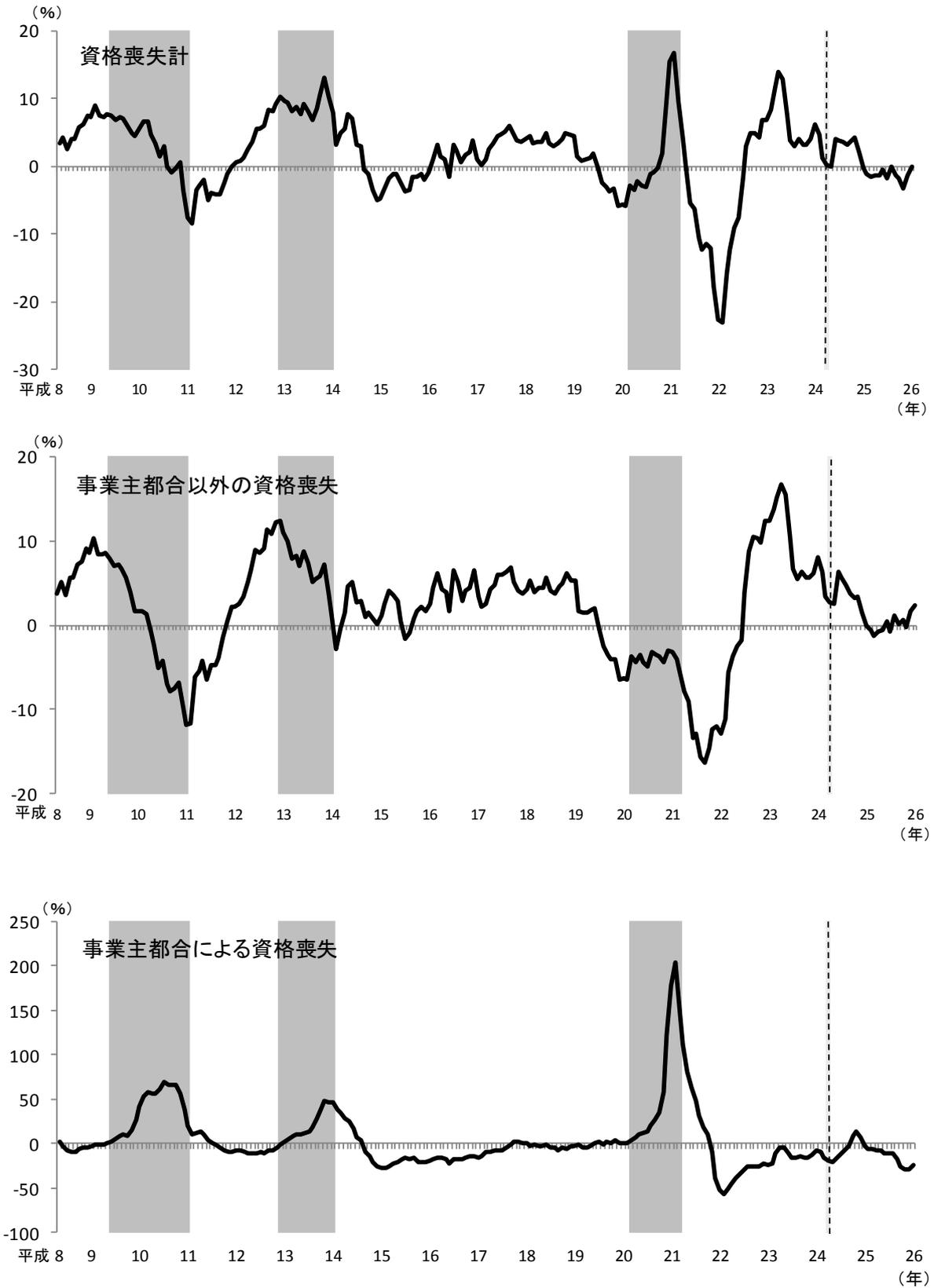
岩崎 修 直通：03-3502-6771

図1 一般被保険者数の推移（前年同月比）



- (注) 1) 各月の数値の前後に1月の数値を加えたものを3で除した値(3か月移動平均)をもとめ、同様にして得た前年同期の値に対する比によって前年同月比とした。
- 2) シャドローは景気後退期を示す。なお、暫定の景気の山は点線で示した。

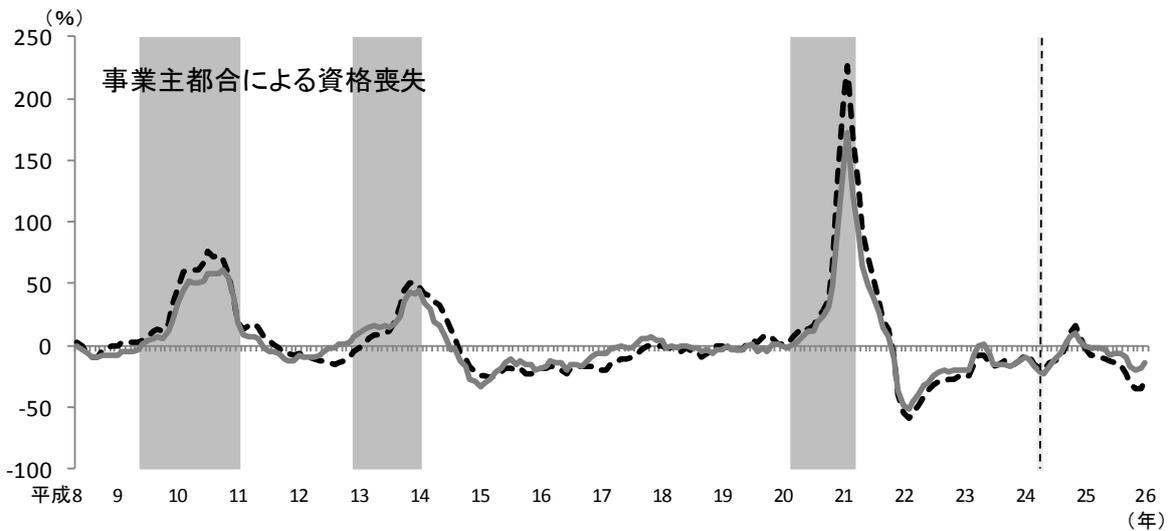
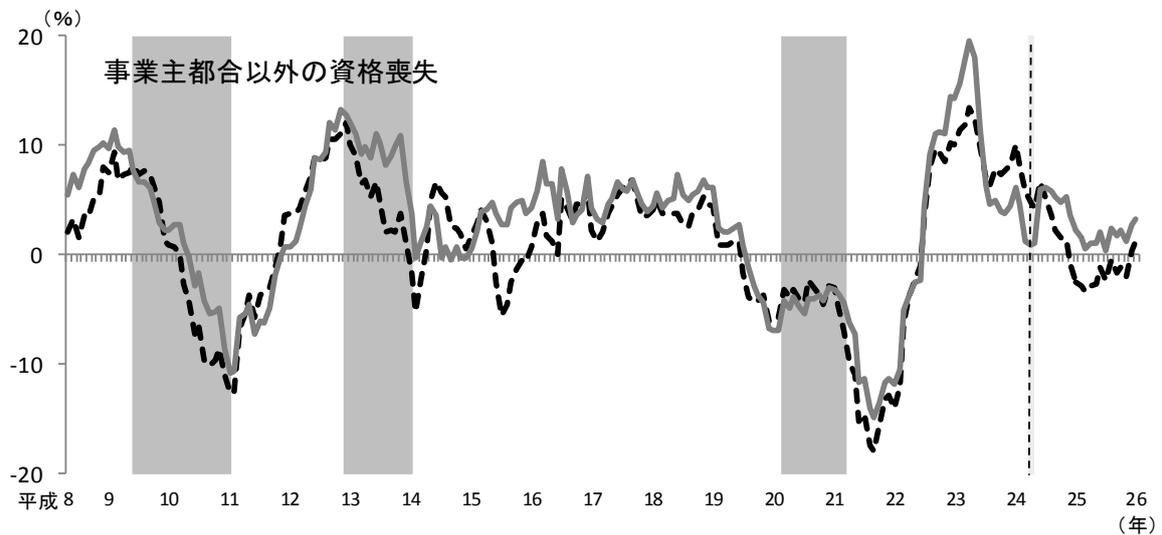
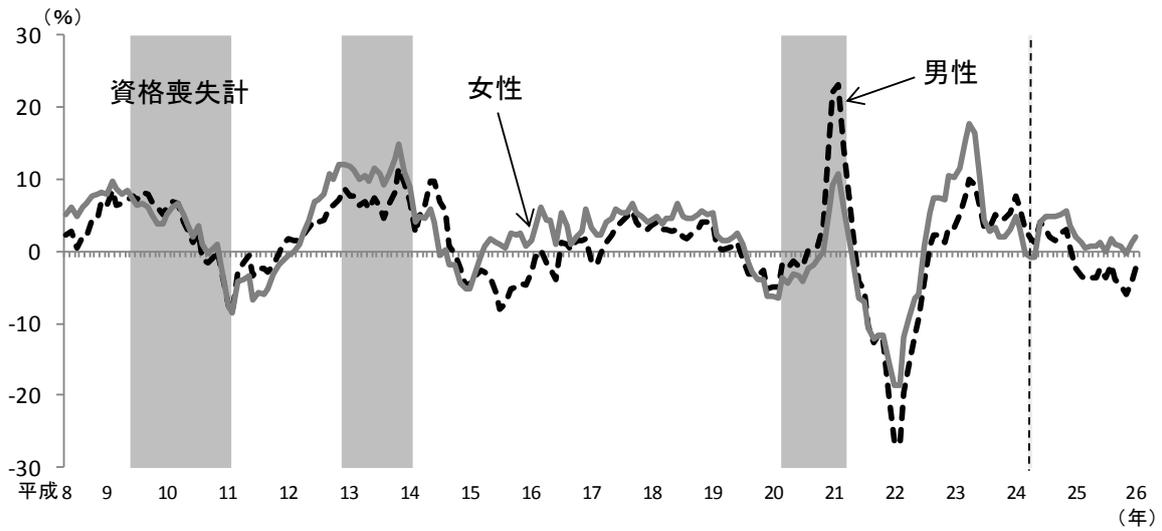
図2 資格喪失者数の推移（前年同月比）



(注) 1) 各月の数値の前後に1月の数値を加えたものを3で除した値(3か月移動平均)をもとめ、同様にして得た前年同期の値に対する比によって前年同月比とした。

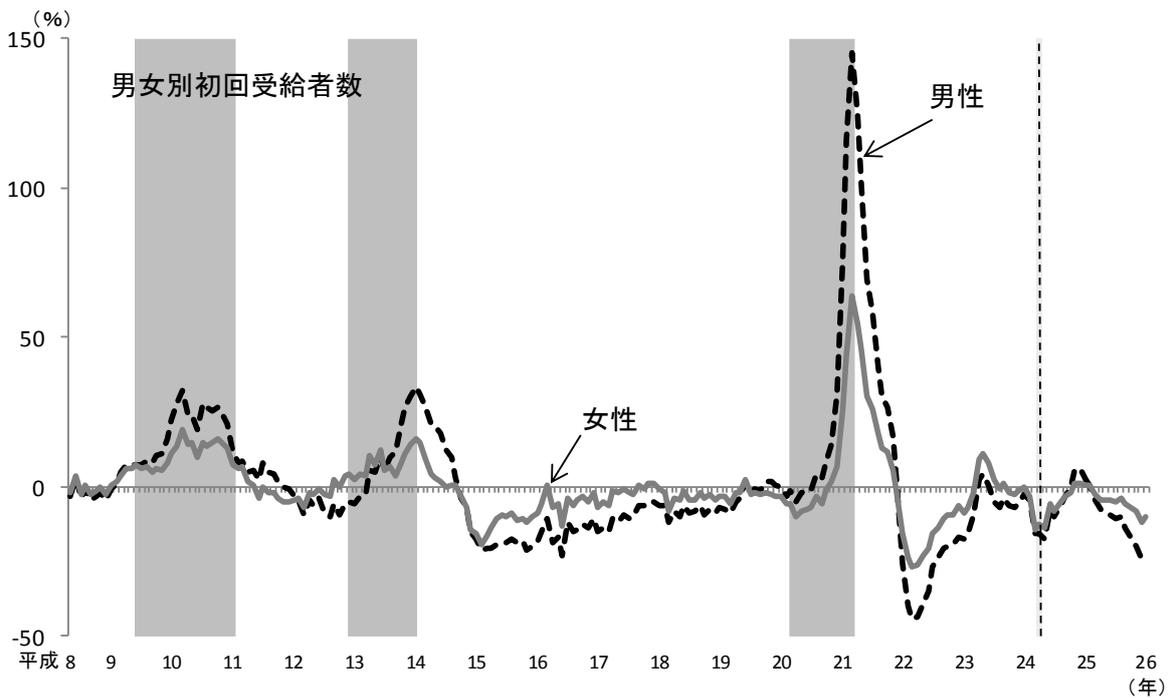
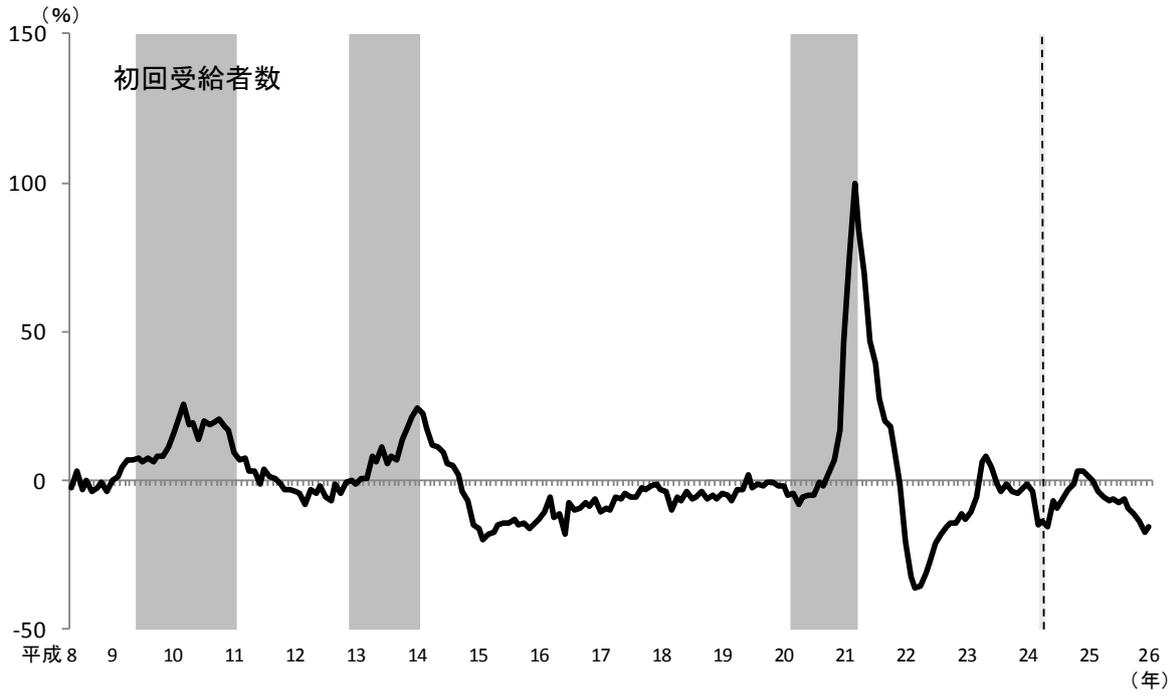
2) シャドーは景気後退期を示す。なお、暫定の景気の山は点線で示した。

図3 男女別にみた資格喪失者数の推移（前年同月比）



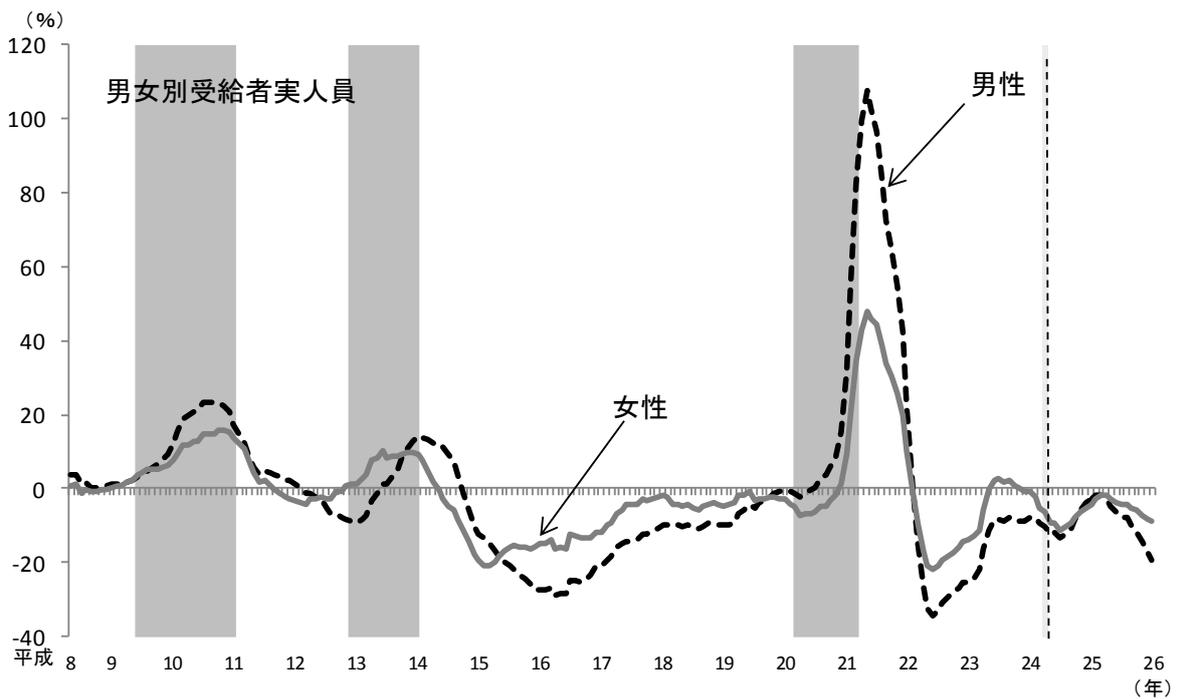
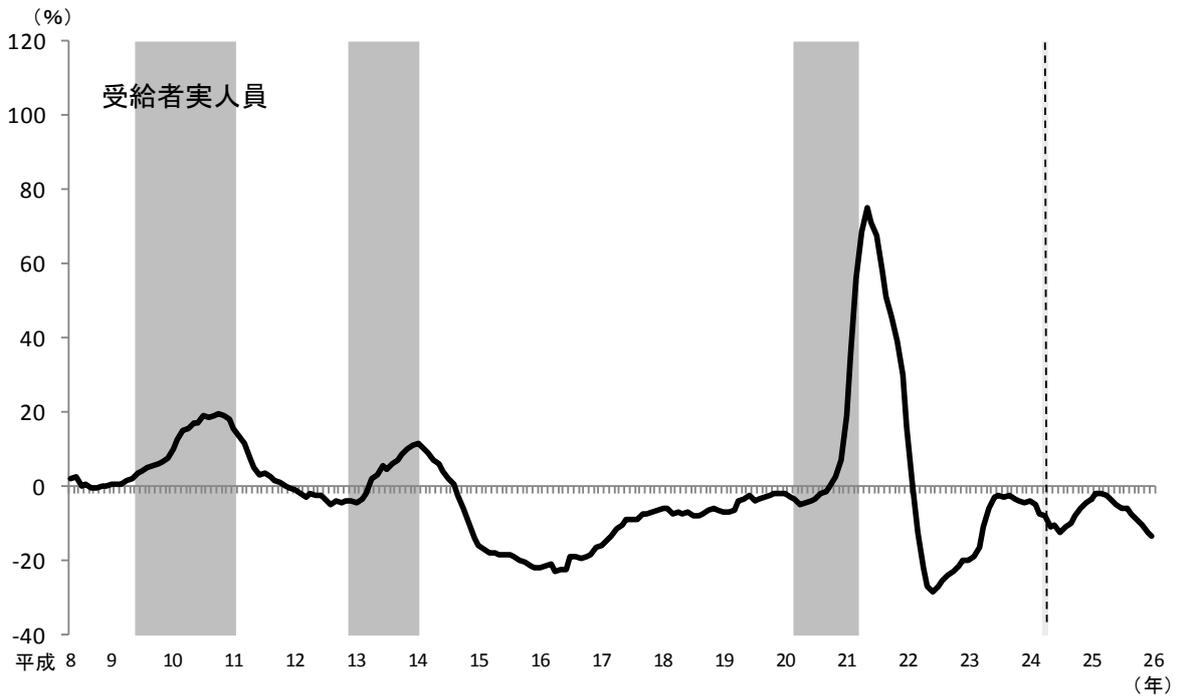
- (注) 1) 各月の数値の前後に1月の数値を加えたものを3で除した値(3か月移動平均)をもとめ、同様にして得た前年同期の値に対する比によって前年同月比とした。
- 2) シャドーは景気後退期を示す。なお、暫定の景気の山は点線で示した。

図4 初回受給者数の推移（前年同月比）



- (注) 1) 各月の数値の前後に1月の数値を加えたものを3で除した値(3か月移動平均)をもとめ、同様にして得た前年同期の値に対する比によって前年同月比とした。
- 2) シャドーは景気後退期を示す。なお、暫定の景気の山は点線で示した。

図5 受給者実人員の推移（前年同月比）



- (注) 1) 各月の数値の前後に1月の数値を加えたものを3で除した値(3か月移動平均)をもとめ、同様にして得た前年同期の値に対する比によって前年同月比とした。
- 2) シャドーは景気後退期を示す。なお、暫定の景気の山は点線で示した。